

サラリーマン

金太郎

本宮ひろ志

Motomiya Hiroshi

22

金太郎、交わる



サラリーマン
金太郎

本宮ひろ志

Motomiya Hiroshi

22

金太郎、交わる



【前巻までのあらすじ】

○ サラリーマンになるため、漁師をやめて上京してきた一人の男——その名を“矢島金太郎”という。亡き妻、明美の忘れ形見・竜太を背負い、一流企業「ヤマト建設」にやつてきた。しかし、この男、元は暴走族「八州連合」の頭^(ヘド)という型破りな経歴の持ち主。ヤマト建設会長・大和守之助を救ったのがきっかけで中途採用されたのだつた。

金太郎は様々な妨害や困難に誰よりも熱く立ち向かつていき、その生き様は多くの者を魅了。金太郎はその人脈を広げていった。

リストラ組合員達と新会社を興し、一時、ヤマトを出た金太郎だったが、軌道に乗った会社を吸収合併という形でヤマトに売却、伊郷新社長の社長室長に抜擢される。しかし、伊郷は新生ヤマトのため、自らの解任案に賛成。結果、反対派の役員は解雇、大石副社長が社長となる。

鹿児島支社に飛ばされた金太郎は、「老主」と呼ばれるヤマト建設の大株主から株の委任状を取り付ける。単身赴任から我が家へ帰つた金太郎だったが、鹿児島での浮気がバレ、美鈴が家出。子供一人抱えたまま、今度はヤマトが推す民自党山金派の代議士・朝倉英雄の事務所に行くことになる。朝倉は典型的な一世議員だったが、金太郎に影響され、生き方を変え始める。その変貌ぶりに有力な後援会が離反するが、体当たりで総選挙に挑む朝倉の姿は思わず票を集め、結果、次点と善戦。朝倉はアメリカに留学する。金太郎は本社に復帰、会社が新プロジェクトに向けて動き出す中、再び新入社員の研修を任される。研修後、サラリーマンである今の自分をずっと否定し苦悩していた金太郎はヤマトに辞表を提出。そして、もう一度勉強し直すため、美々の婚約者・ジャックに紹介された、アメリカの大学に留学すること……。



矢島美鈴



末永美々



矢島金太郎



F・モーガン



J・モーガン

サラリーマン
金太郎

22

金太郎、交わる

【目次】



第126話○金太郎、郷に入る。

第127話○金太郎、学問する。

第128話○金太郎、侮辱される。

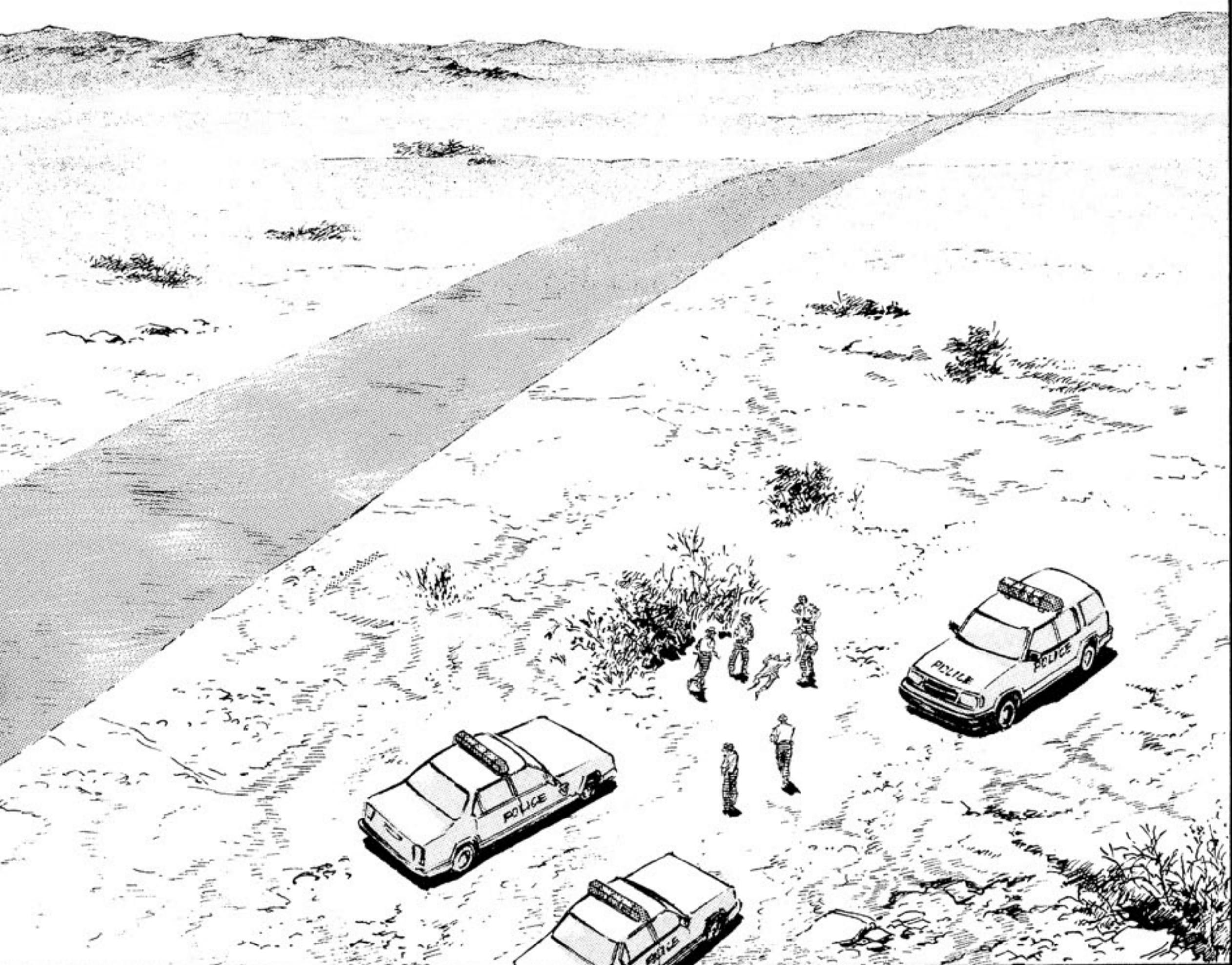
第129話○金太郎、応酬する。

第130話○金太郎、訴えられる。

【登場人物】

- 矢島金太郎（やじま・きんたろう）……………株ヤマト辞職後、アメリカに留学・本作の主人公
矢島竜太（やじま・りゅうた）……………金太郎の長男
矢島美鈴（やじま・みすず）……………金太郎の妻・銀座の一浴クラブの元ママ
末永美々（すえなが・みみ）……………美鈴の娘・米国在住
矢島美香（やじま・みか）……………金太郎と美鈴の娘
ジャック・モーガン……………美々の婚約者
フランクリン・モーガン……………ジャックの父・モーガン財閥のトップ
朝倉英雄（あさくら・ひでお）……………金太郎の友人・ワシントン留学中
水木一樹（みずき・かずき）……………金太郎の元上司の息子・J.A留学中

—アメリカ合衆国—
ネバダ州



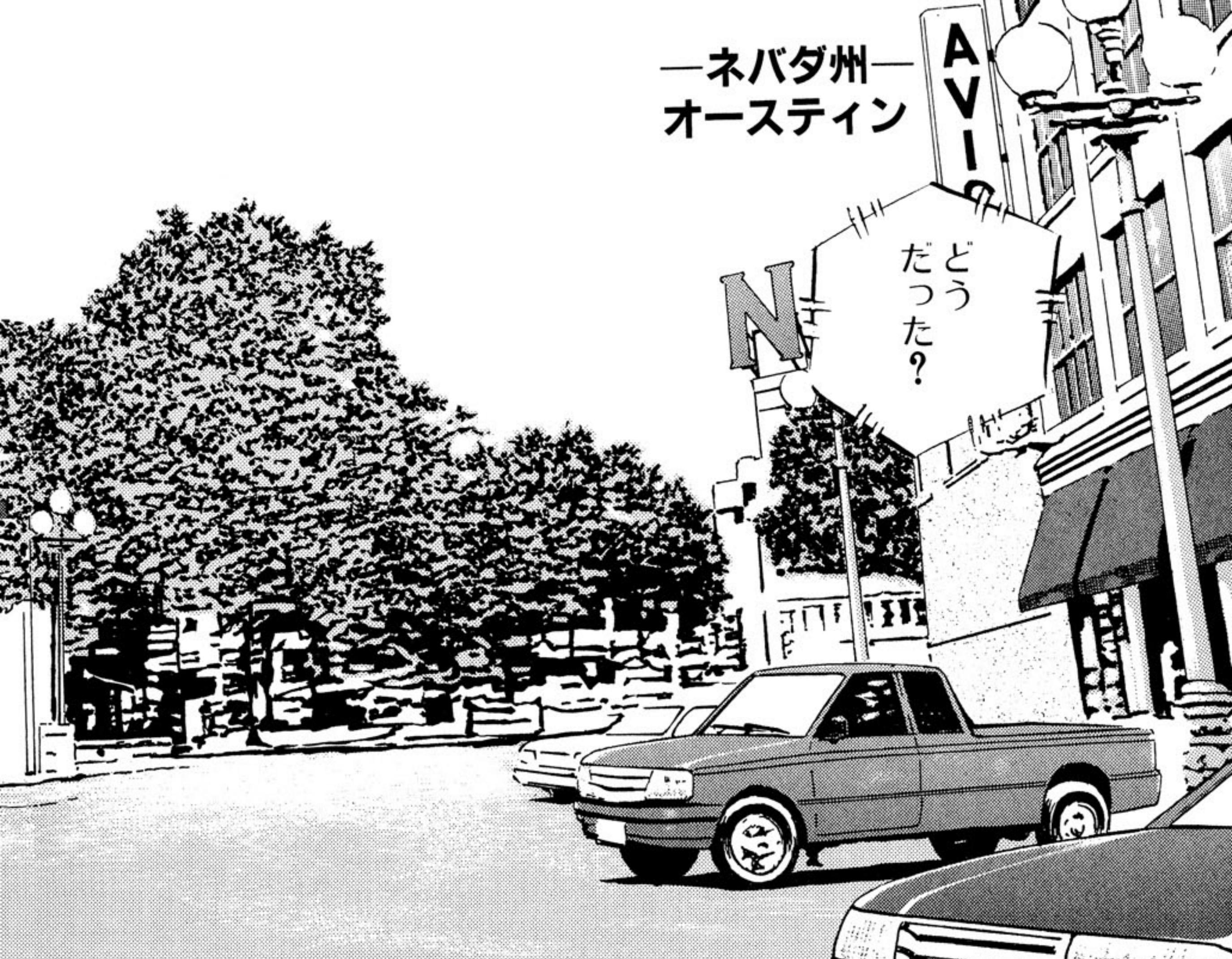
第126話 金太郎、郷に入る。



第126話
金太郎、郷に入る。



—ネバダ州—
オースティン



—ワシントン—





—日本—
矢島家

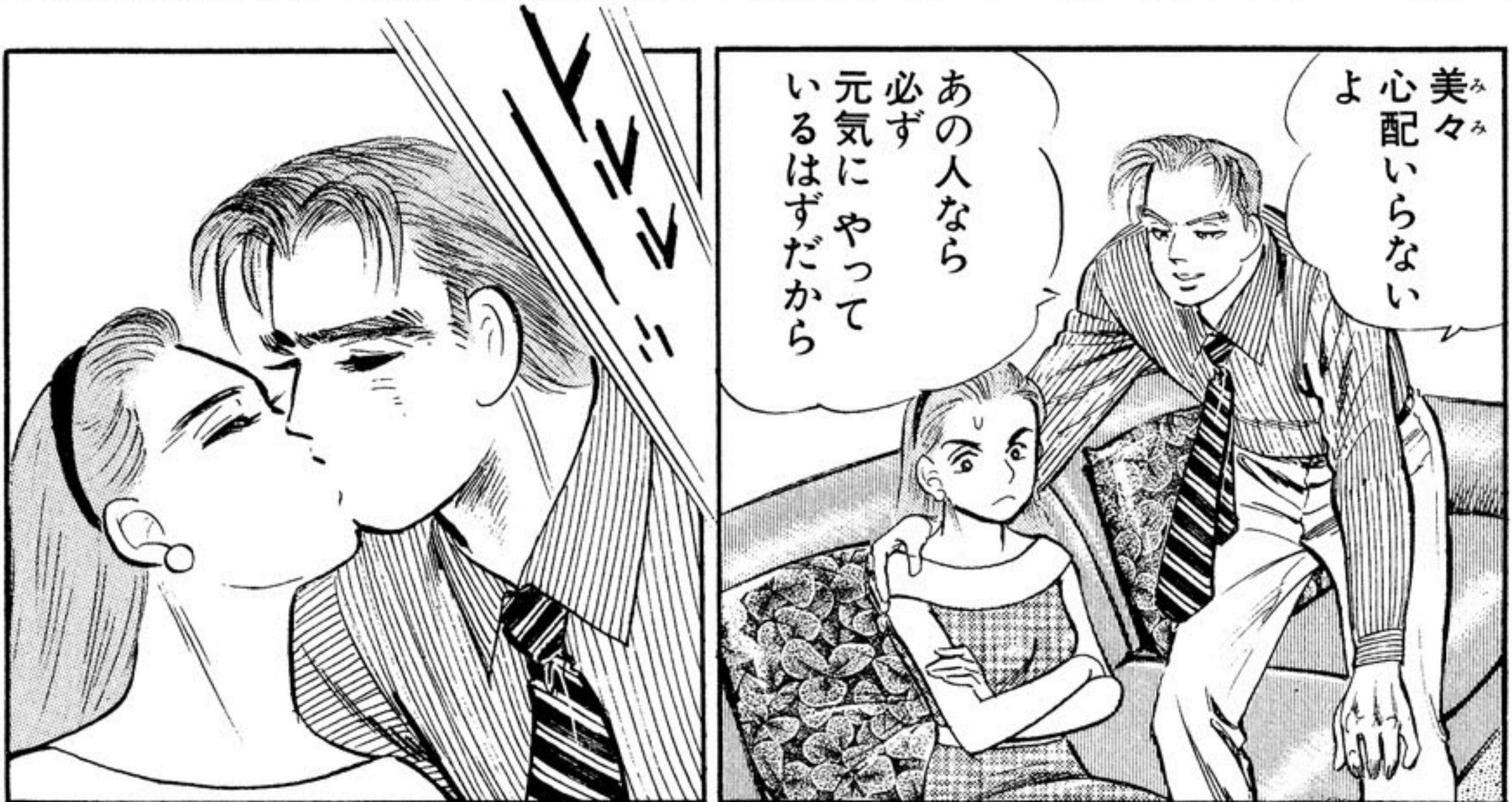
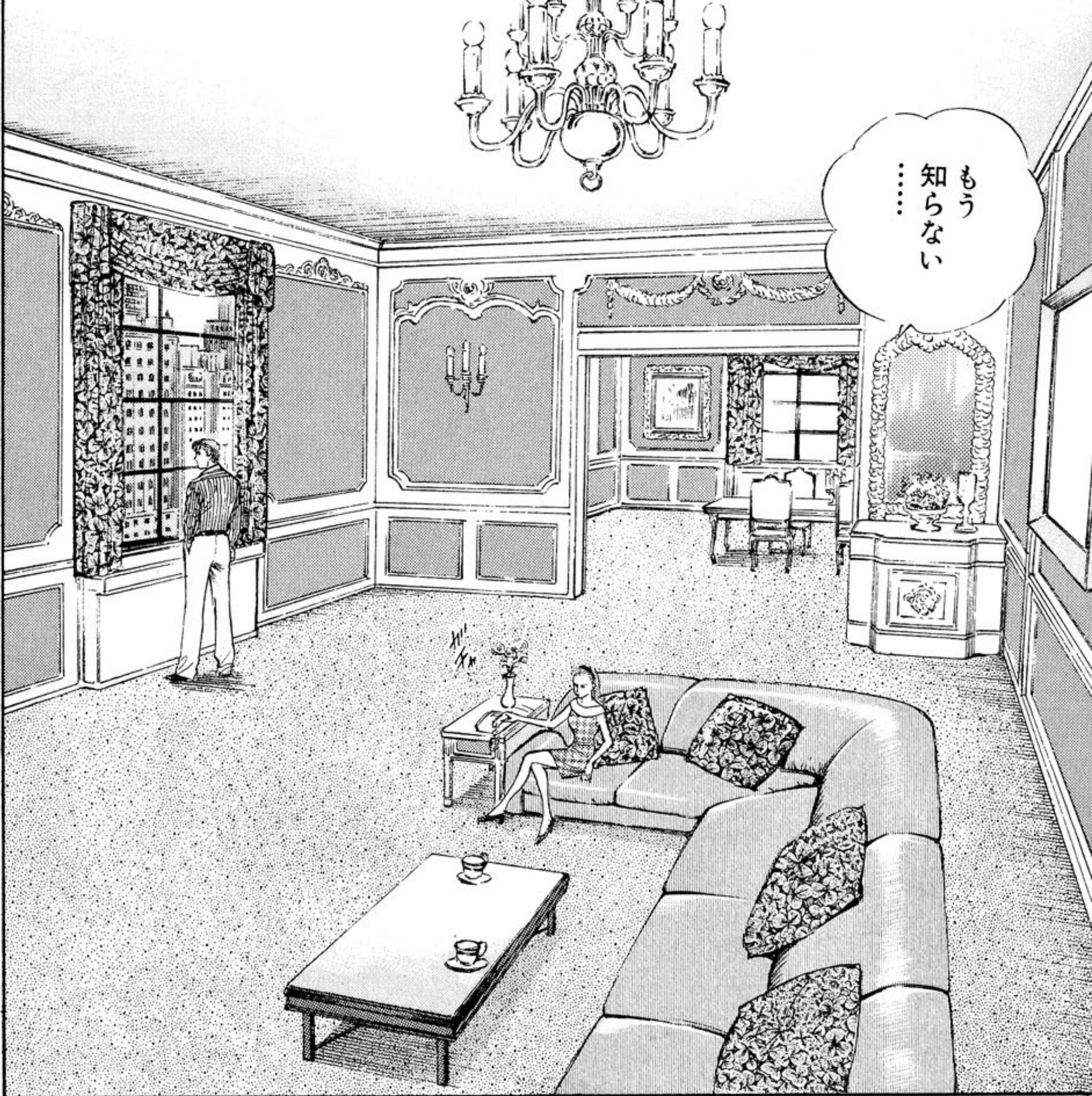


—ニューヨーク—

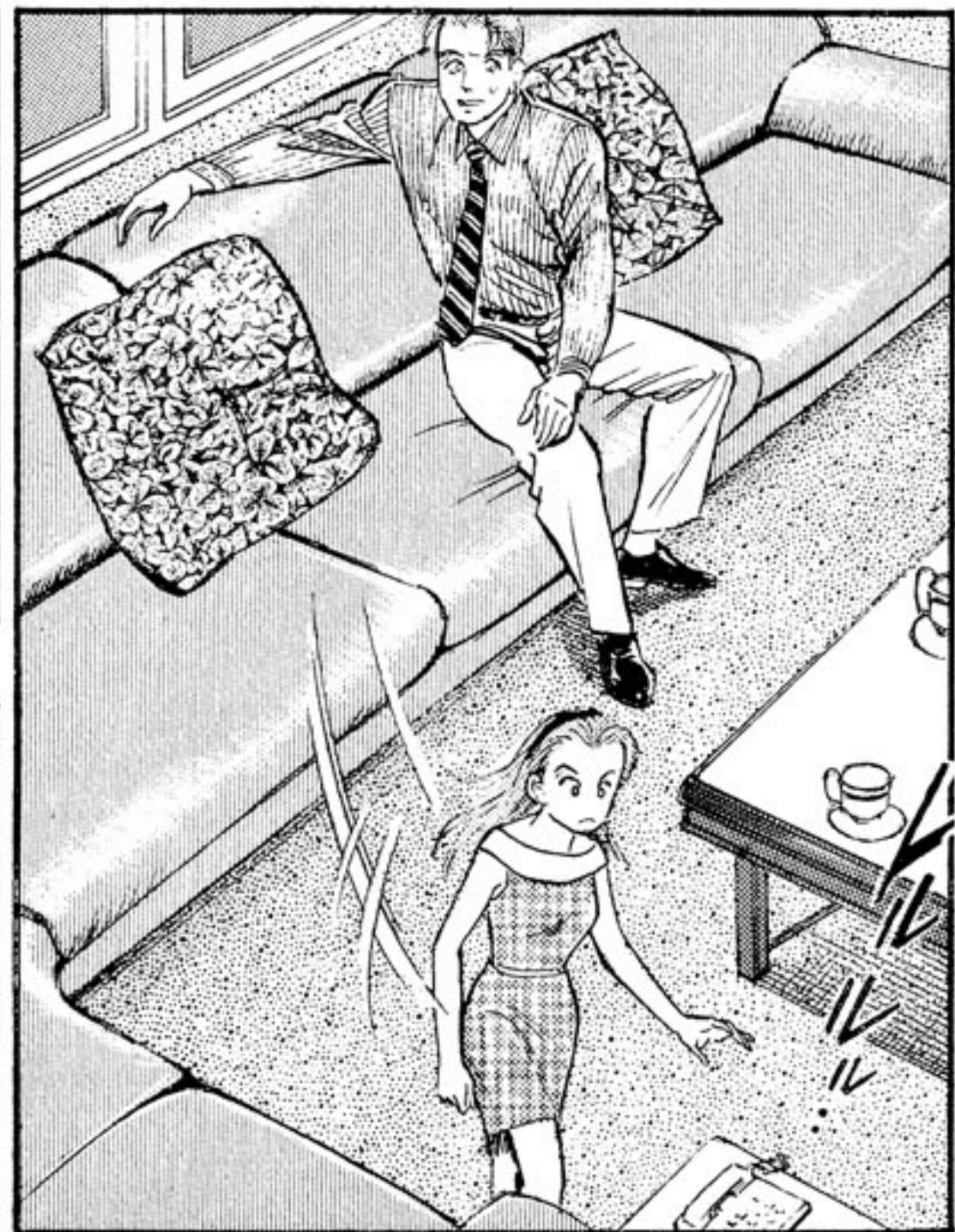
たしかに
ニューヨーク
行きの
飛行機が
シアトルで
緊急着陸した
からつて

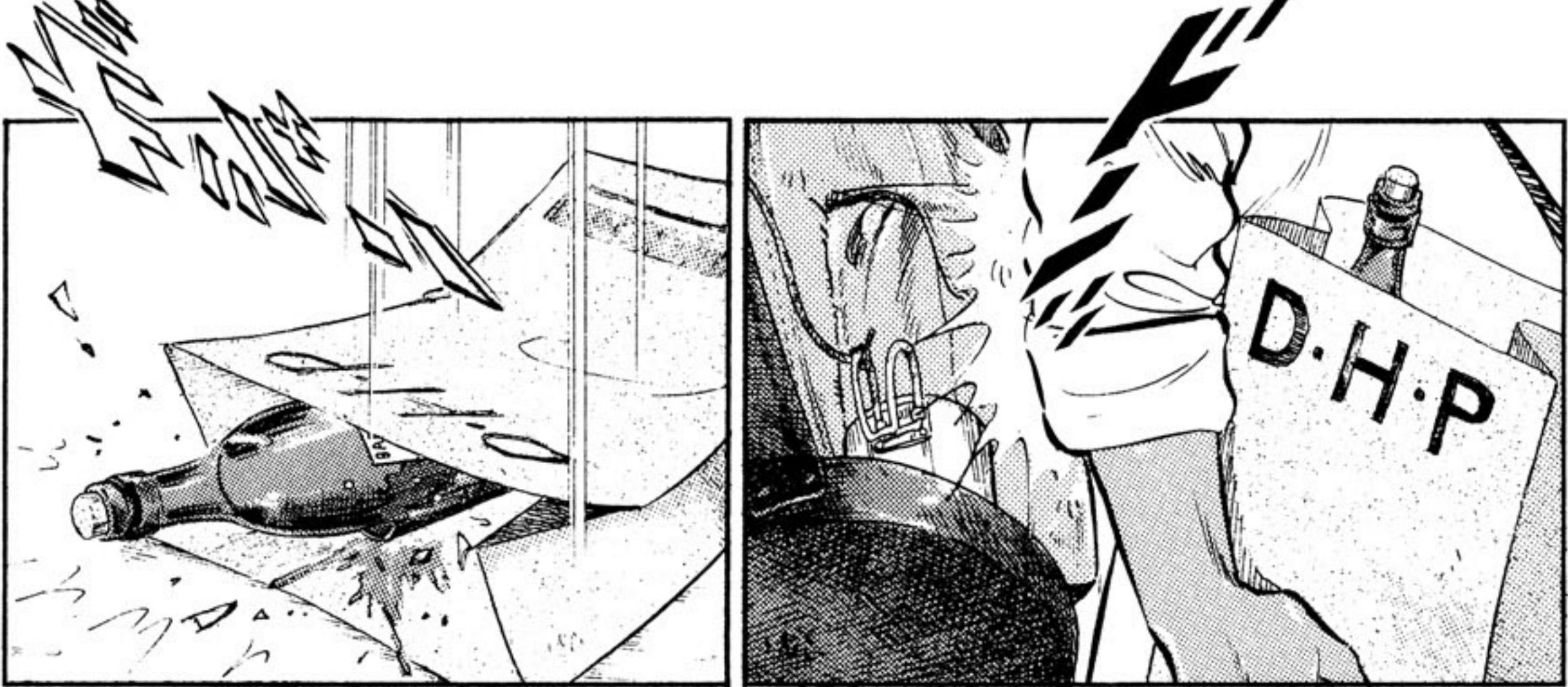
だから
歩いて行くつて
言うなら一年以上
かかるちゃう
かかつちゃう
でしよう？

シアトルから
ニューヨークまで
歩いて行くつて
電話があつたわよ

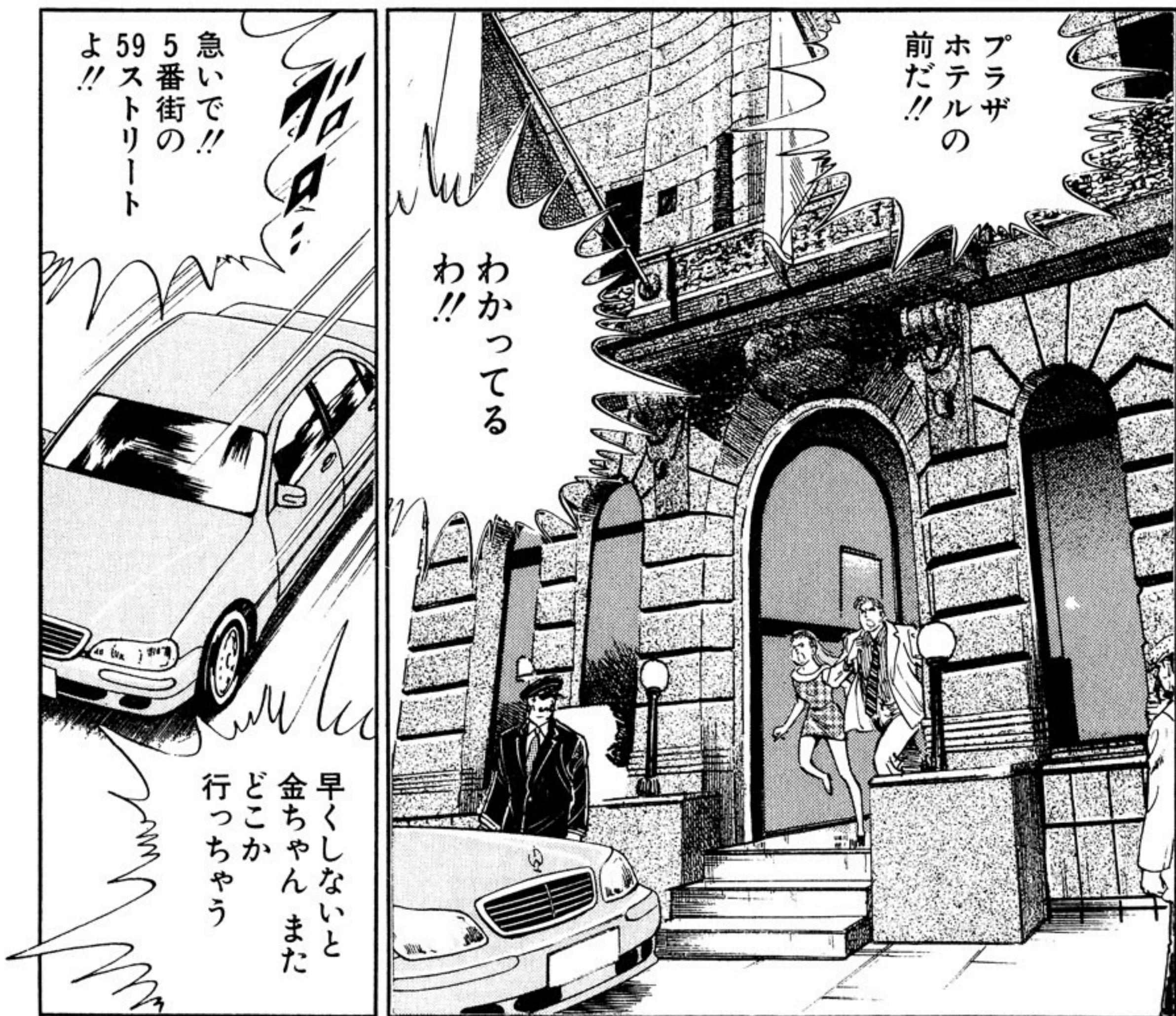


サラリーマン金太郎22



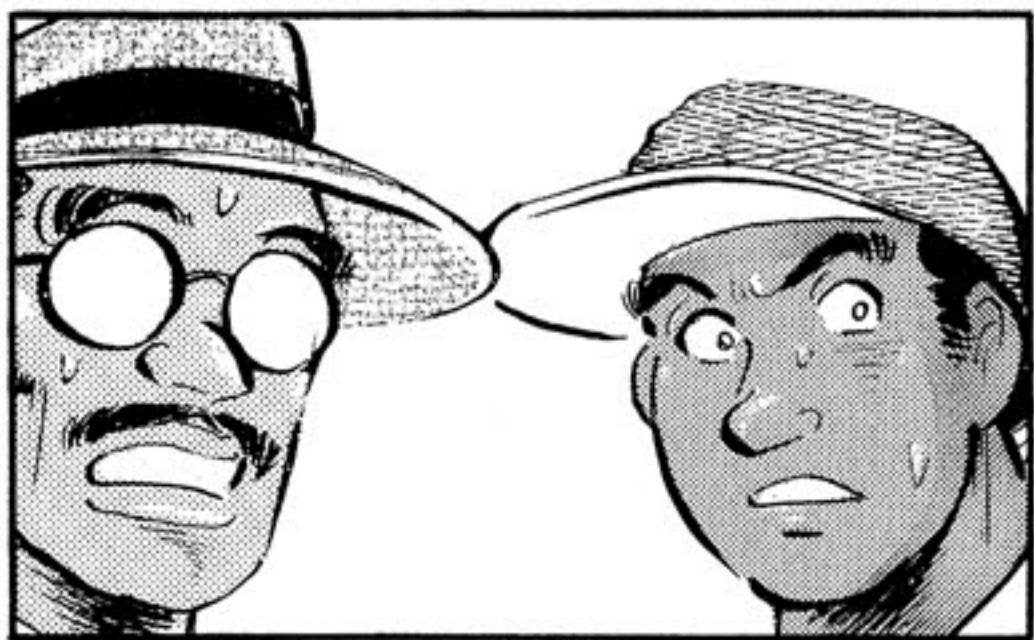


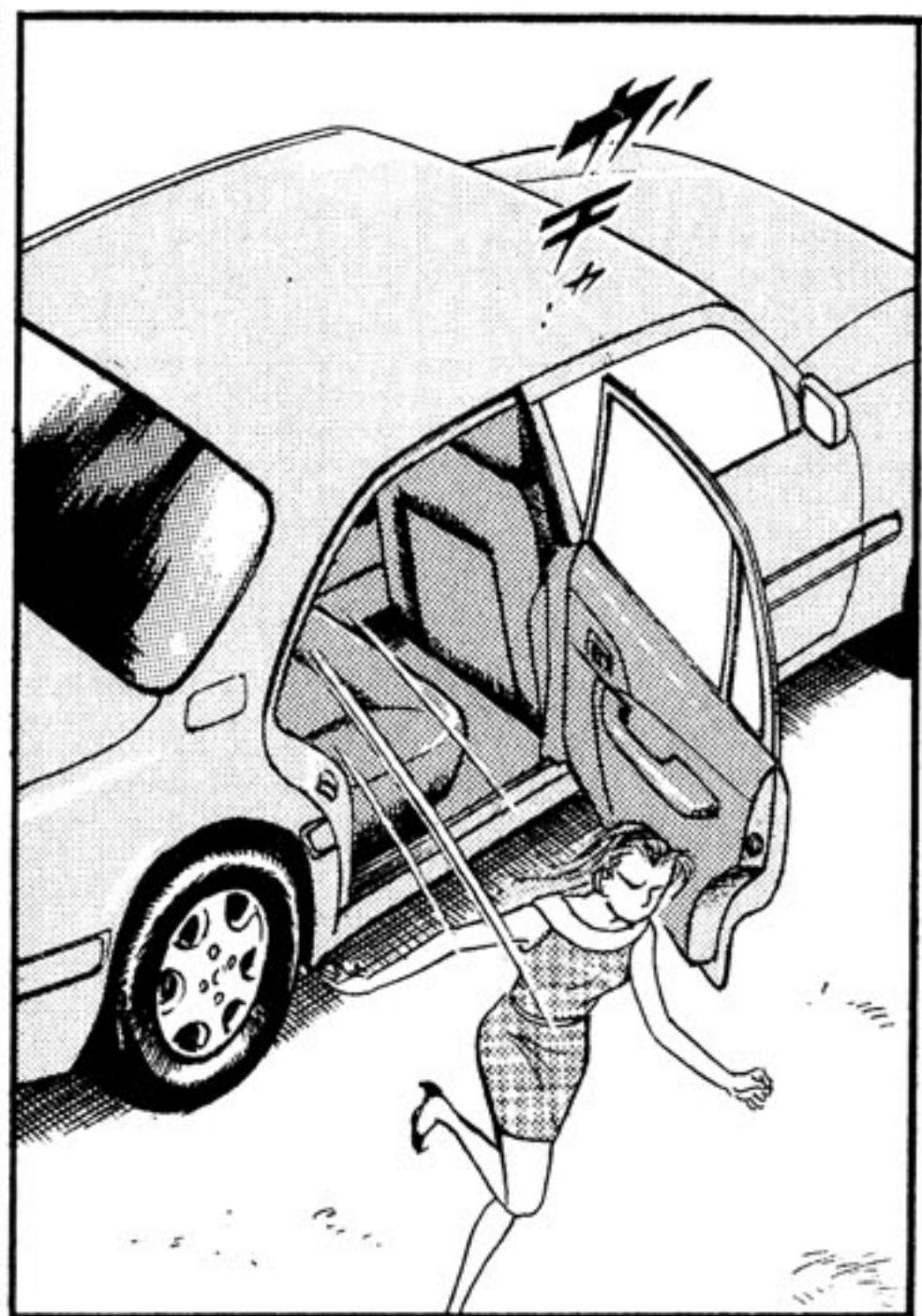
サラリーマン金太郎22

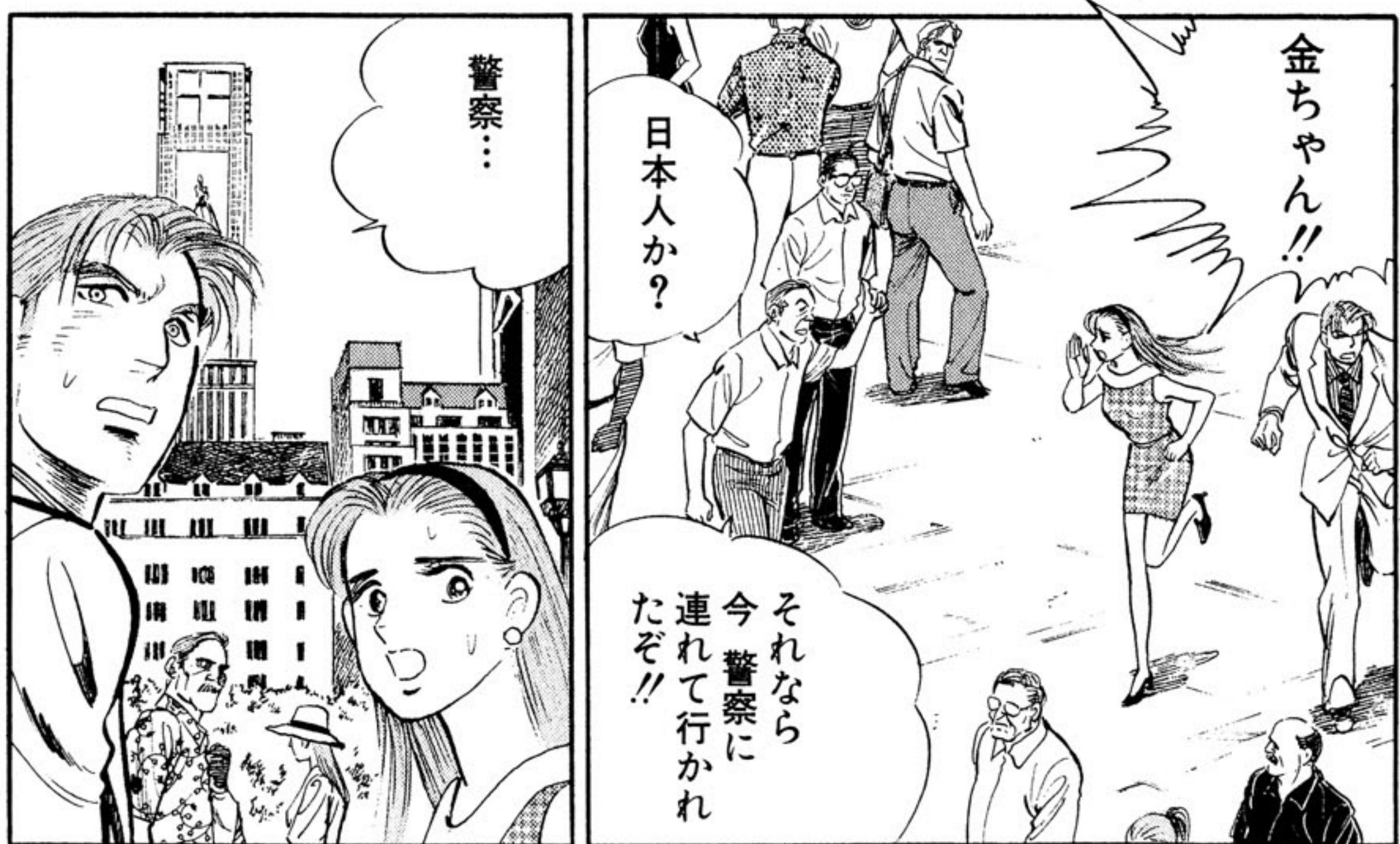
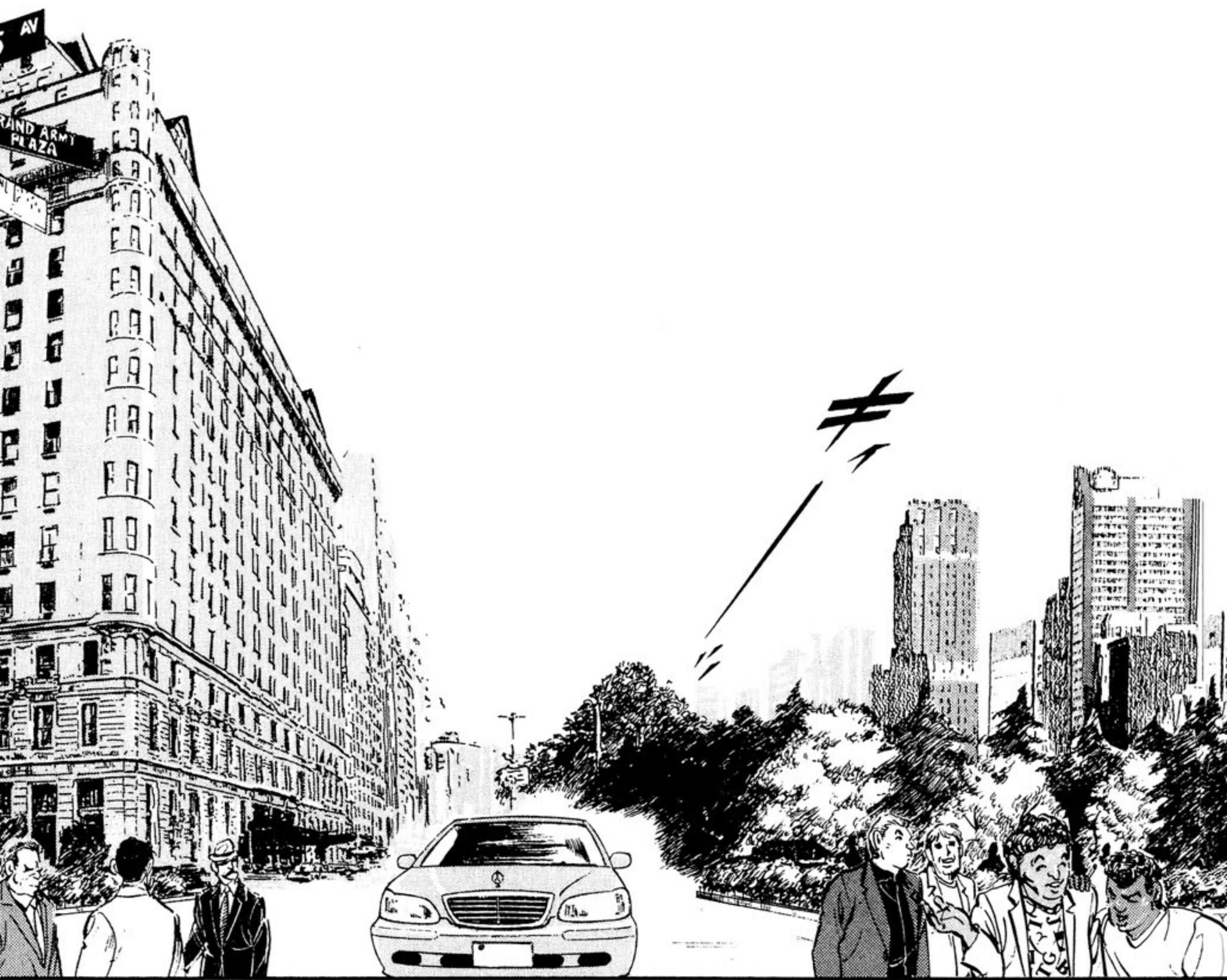


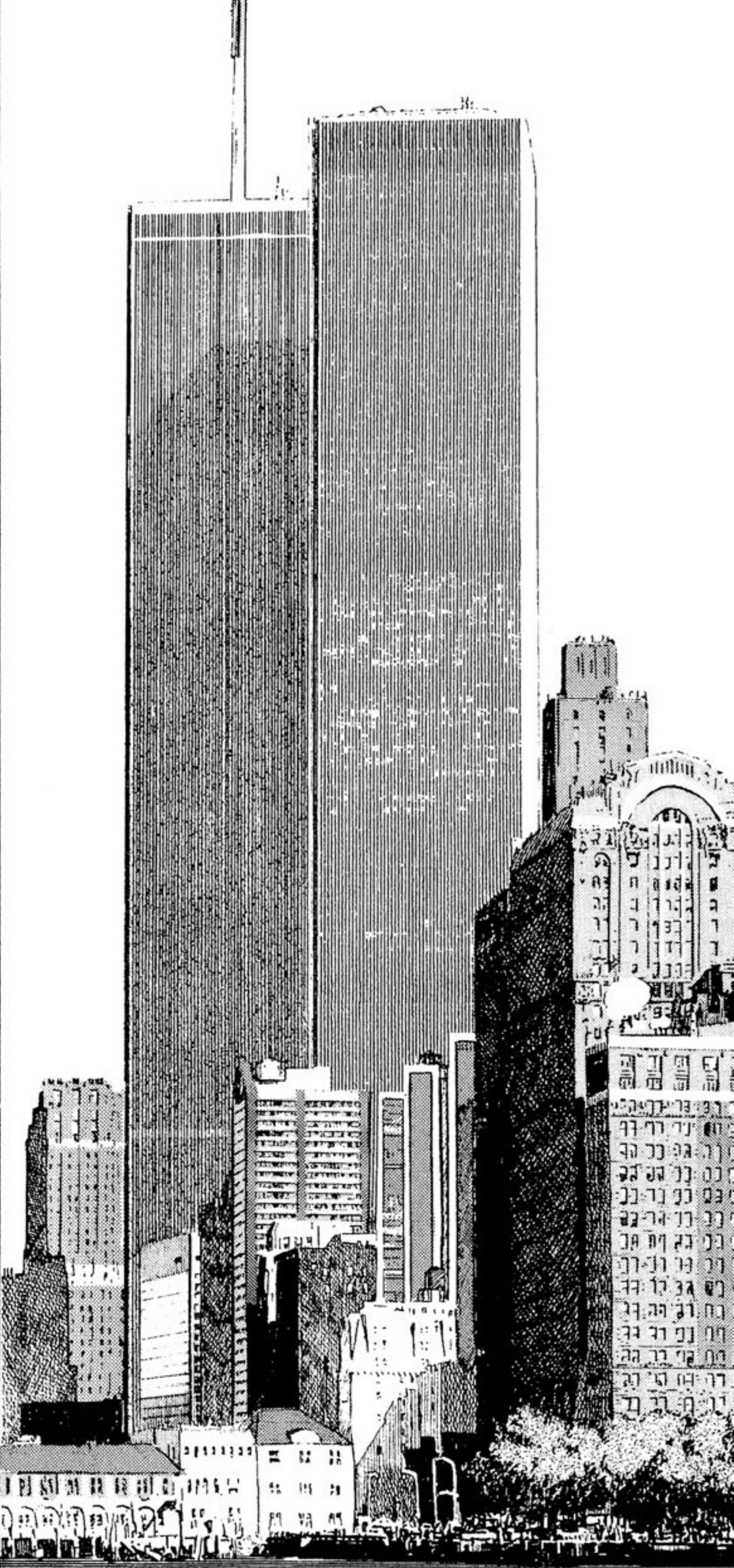
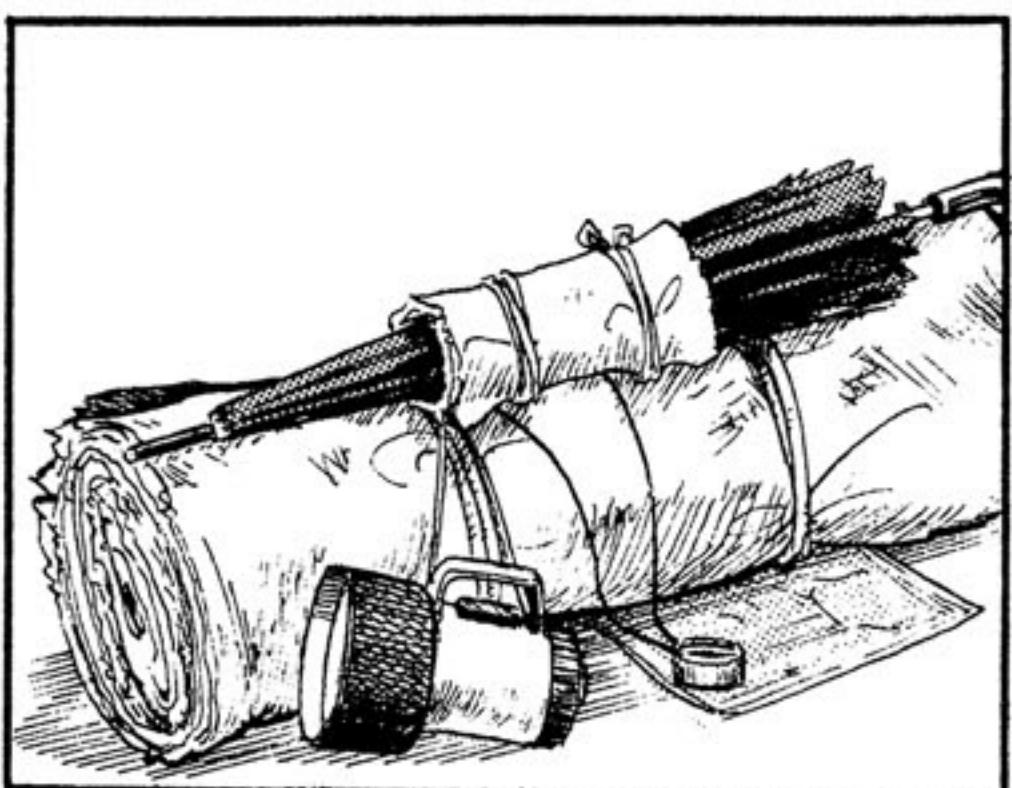


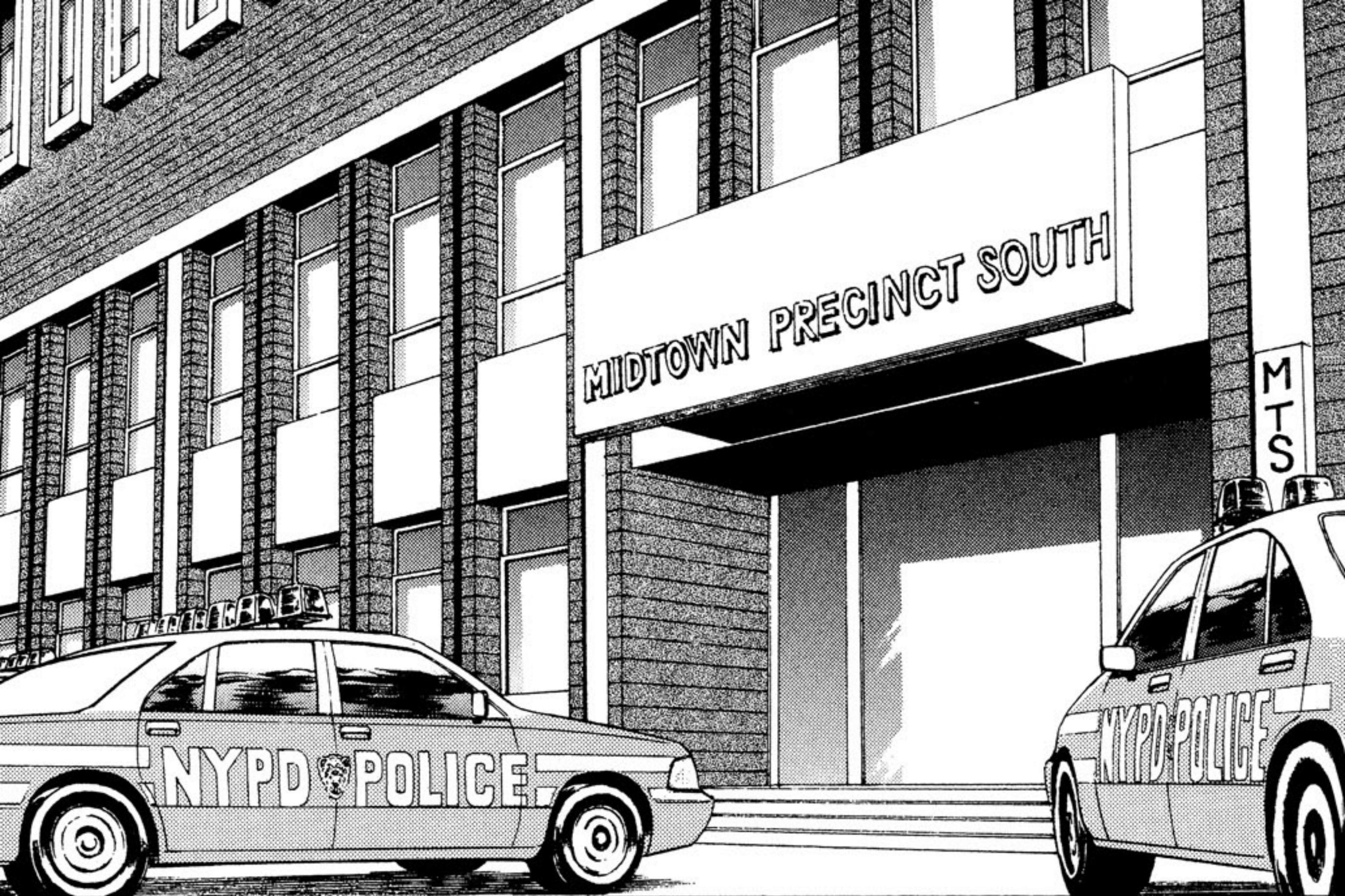
そうかい!!













サラリーマン金太郎②

